

平成31年度(令和元年度)
全国学力・学習状況調査の調査結果の活用による指導改善に向けた説明会

令和元年8月30日(金)
県立教育研究所

本日の内容

1. 全国学力・学習状況調査の目的について
2. 今後の全国学力・学習状況調査について
 - (1) 結果提供の時期、調査実施日について
 - (2) 調査結果を踏まえた各教育委員会・学校への支援等
 - (3) 令和2年度全国学力・学習状況調査の概要
3. 奈良県の調査結果とその特徴について
 - (1) 全国学力・学習状況調査の内容
 - (2) 教科に関する調査結果
 - (3) 質問紙に関する調査結果
4. レーダーチャートについて
5. 教育委員会や先生方をお願いしたいこと

調査の目的

- 国としては、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析して、教育施策の改善・充実に生かす
- 教育委員会としては、自治体や学校の学力水準を検証し、教育委員会の施策の改善・充実に生かす
- 学校としては、個々の児童生徒の学習状況を把握し指導に生かすとともに、学校全体として指導方法の検証・改善につなげる
- 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する



2. 今後の全国学力・学習状況調査について

(1) 結果提供の時期、調査実施日について

結果提供・公表日の早期化

昨年度から

提供日：7月中下旬

公表日：7月下旬

調査実施日の原則の変更

今年度以降

**原則として火～木曜日のうち、4月18日に
最も近い日**

令和2年度は4月16日（木）に、
令和3年度は4月20日（火）に実施予定

(2) 調査結果を踏まえた各教育委員会・学校への支援等

学校における指導改善に資する資料の配布など

- 全国学力・学習状況調査 報告書
調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に取り組む際に役立てることができるよう作成。
- 全国学力・学習状況調査 授業アイデア例
課題が見られた事項について、授業の改善・充実を図る際の参考となるよう、授業のアイデアの一例を示すものとして作成。
- 説明会の開催等
国立教育政策研究所の学力調査官を派遣し、教育委員会や学校への指導・助言を実施。
(国立教育政策研究所HP <http://www/nier.go.jp/19chousakekkahoukoku/index.html>)
- 全国学力・学習状況調査 効果的な活用事例調査
各自治体・各学校における本調査の効果的な活用事例を把握するとともに、好事例を広く共有するために実施。

小・中学校の教員を対象とした、調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に向けた説明会の開催

期日：令和元年10月24日(木) 場所：県立教育研究所

(3) 令和2年度全国学力・学習状況調査の概要

1. 令和2年度調査について

① 本体調査

○実施日：令和2年4月16日(木)

○小学校、中学校ともに、国語、算数・数学の2教科＋質問紙調査(児童生徒・学校)

② 経年変化分析のための調査

○実施日：令和2年5月11日(月)～6月30日(火)で抽出校が可能な日

○平成25年度、28年度に続く3回目の経年変化分析調査

○教科調査：

・小学校は国語、算数、中学校は国語、数学、英語(4技能)

・中学校英語「話すこと」調査はコンピュータやタブレット等の機器を活用した音声録音方式

・調査問題は非公表、国語、算数・数学は13種類、英語は2種類の問題冊子から1種類を調査

○質問紙調査

・中学校の英語実施校のみ、英語教科に関する生徒質問紙、学校質問紙を実施

○調査対象校(抽出)：国語、算数・数学、英語のいずれか1教科のみを実施

・国語、算数・数学：小学校510校(2万8千人)、中学校420校(4万5千人)

・英語(4技能)：中学校150校(1万6千人)

○調査問題が非公表のため、問題冊子(調査プログラムを含む)や解答用紙等は調査後回収
児童生徒への個人票の提供はない

③ 保護者に関する調査

○平成25年度、29年度に続く、3回目の保護者調査で、経年と同時期に実施

○経年変化を受けた児童生徒の保護者を対象として、学校を通じて調査票を配布、回収

(3) 令和2年度全国学力・学習状況調査の概要

2. 例年からの変更点

- 小学校調査の解答用紙をB4からA4に変更
- 本調査の資材配達日程は一律に前日とせず、令和2年4月13日(月)～15日(水)に各学校に到着するよう変更
- 教育委員会、学校への結果提供はWeb提供のみ(CD-ROM、DVD-ROMの廃止)

3. 平成29年度小学校調査と令和2年度中学校調査の調査結果の連携について

- 平成29年度の実施要領において、「文部科学省は・・・学校間での情報共有を図った学校について、平成32年度の中学校調査の実施の際に生徒が平成29年度に受けた小学校調査の個人票コードを回収することにより、同一児童生徒に関する小学校調査と中学校調査の結果の関係についての分析を行い、関係教育委員会及び学校に対し、分析結果を提供することとする」と規定
- 既に、平成29年度の小学校調査の個人票を進学先の中学校に共有するなどして、本件に備えており、データの提供を希望する教育委員会には、平成29年度小学校調査の結果と令和2年度中学校調査の結果を連結したデータセットと集計・分析ツールを提供する予定。

3. 奈良県の調査結果とその特徴について

平成31年度全国学力・学習状況調査の結果（教科）

	平成31年度（令和元年度）						
	国語		算数・数学		英語（※）		英語「話すこと」 全国（参考値）
	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	
小学校	8.9/14 63.8	8.4/14 60	9.3/14 66.6	9.2/14 66			
中学校	7.3/10 72.8	7.2/10 72	9.6/16 59.8	9.5/16 59	11.8/21 56.0	11.7/21 56	1.5/5 30.8

※英語調査の結果は、「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」の合計。

※平成29年度から、国からの各都道府県別の平均正答率の提供が整数値となったため、奈良県の平均正答率は整数値で示しています。

	平成30年度							
	国語 A		国語 B		算数・数学 A		算数・数学 B	
	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県
小学校	8.5/12 70.7	8.3/12 69	4.4/8 54.7	4.3/8 53	8.9/14 63.5	8.8/14 63	5.1/10 51.5	5.0/10 50
中学校	24.3/32 76.1	24.2/32 76	5.5/9 61.2	5.4/9 60	23.8/36 66.1	23.8/36 66	6.6/14 46.9	6.5/14 46

○小学校においては、全国平均正答数を国語で0.5ポイント、算数で0.1ポイント下回った。

○中学校においては、国語、数学、英語の全ての調査において、全国平均正答数を0.1ポイント下回った。

(1) 全国学力・学習状況調査の内容

1 調べたことを報告する文章を書く（「公衆電話」）

出題の趣旨

目的や意図に応じ、調べたことを報告する文章を、図表やグラフを用いて、自分の考えが伝わるように工夫して書くことができるかどうかをみる。

1 はじめに
公衆電話について
高橋 めぐみ

2 調査の内容と結果
1) 公衆電話はどのようなときに必要なのか
多くの人がけいたい電話を持つ中で、公衆電話が必要とされているのかどうかを調べてみることにしました。
そこで、地いきの人三十人を調査の「たいしょう」として、公衆電話は必要かどうかを聞いたところ、ほとんどの人が必要だと回答しました。その理由をまとめてみると、「けいたい電話の電池が切れたときに必要」などの回答がありました。
このことから、公衆電話は、主にけいたい電話を使うことができないときに必要とされているということが分かりました。

2) 公衆電話はどのような使い方や持ちようがあるのか
公衆電話について書かれた資料を調べてみると、公衆電話には、次のような使い方や持ちようがありました。
・警察署（110番）や消防署（119番）には、硬貨やテレホンカードがなくても通報することができます。
・停電のときでも、硬貨を使って通話をすることができます。
・電話が混み合っているときでも、優先的につながりやすい。
このように、公衆電話は、さん急のときにも使うことができます。このようなことが分かりました。

3) 公衆電話はどのような場所にあるのか
公衆電話が必要なときに使うことができるようにするためには、どのような場所に設置されているのかを前もって知っておくことが大切だと思ったので、わたしは、公衆電話の設置場所を確かめてみることにしました。実際に町を歩いてまとめたものが（資料3）です。
この資料から、公衆電話は、主に病院や学校、駅などの多くの人が集まる場所にあるということが分かりました。

3 調査の結果をもとに考えたこと
調査の結果から、公衆電話は、わたしたちにとって必要がなくなってしまうわけではないと考えました。なぜなら、また、公衆電話を使いたいときには、多くの人が集まる場所へ行けば見つけやすいのではないかと、いうことも考えました。
今回の調査を通して知ったことを、学校の友達に、いがらず多くの友達に伝え、公衆電話について、うかんしんをもってもらいたいと思います。



1 はじめに
公衆電話について
高橋 めぐみ

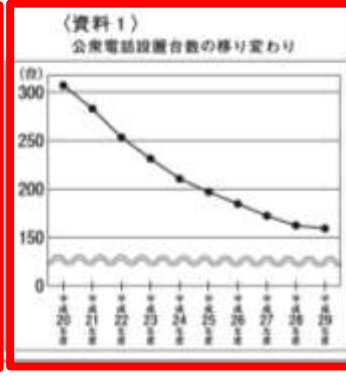
2 調査の内容と結果
1) 公衆電話はどのようなときに必要なのか
多くの人がけいたい電話を持つ中で、公衆電話が必要とされているのかどうかを調べてみることにしました。
そこで、地いきの人三十人を調査の「たいしょう」として、公衆電話は必要かどうかを聞いたところ、ほとんどの人が必要だと回答しました。その理由をまとめてみると、「けいたい電話の電池が切れたときに必要」などの回答がありました。
このことから、公衆電話は、主にけいたい電話を使うことができないときに必要とされているということが分かりました。

2) 公衆電話はどのような使い方や持ちようがあるのか
公衆電話について書かれた資料を調べてみると、公衆電話には、次のような使い方や持ちようがありました。
・警察署（110番）や消防署（119番）には、硬貨やテレホンカードがなくても通報することができます。
・停電のときでも、硬貨を使って通話をすることができます。
・電話が混み合っているときでも、優先的につながりやすい。
このように、公衆電話は、さん急のときにも使うことができます。このようなことが分かりました。

3) 公衆電話はどのような場所にあるのか
公衆電話が必要なときに使うことができるようにするためには、どのような場所に設置されているのかを前もって知っておくことが大切だと思ったので、わたしは、公衆電話の設置場所を確かめてみることにしました。実際に町を歩いてまとめたものが（資料3）です。
この資料から、公衆電話は、主に病院や学校、駅などの多くの人が集まる場所にあるということが分かりました。

（資料2）
公衆電話が必要な理由のまとめ（複数回答）

けいたい電話をわすれたときに必要	22人
けいたい電話の電池が切れたときに必要	12人
けいたい電話の使用が禁止されている場所にいるときに必要	5人
けいたい電話の電波がとどかない場所にいるときに必要	4人
けいたい電話や家の電話がつながりにくいときに必要	3人
その他	5人



1
高橋さんの字級では、生活の中で気になったことを調べ、友達に報告することになりました。高橋さんは、公衆電話について調べています。次は、高橋さんが書いている「報告する文章」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

「報告する文章」



三 高橋さんは、「3 調査の結果をもとに考えたこと」の
[]に「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で
分かったことをまとめて書いています。[]に入る
内容を、次の条件に合わせて書きましよう。

【報告する文章】

3 調査の結果をもとに考えたこと

調査の結果から、公衆電話は、わたしたちにとって必要が
なくなってしまうわけではないと考えました。なぜなら、

[]

また、公衆電話を使いたいときには、多くの人が集まる場所へ
行けば見つけやすいのではないかとすることも考えました。
今回の調査を通して知ったことを、学級の友達にイカざらず
多くの友達に伝え、公衆電話についてウかんしんをもってもらい
たいと思います。

(解答類型1)

公しゆう電話は、主にけいたい電話を使うこと
ができないときに必要とされたり、きん急の
ときにも使うことができたりするからです。

正答率
(全国)
28.9%

- 調べて分かった事実から、自分の考えを支えるものとしてふさわしいものを取り上げ、自分の考えとの関係を十分に捉えて書く。
- 調べた目的と、調べた結果に基づく自分の考えとがずれることのないよう、自分の考えを確かめながら書く。

冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する問題

正答率
(全国)
35.6%

【出題の趣旨】

与えられた情報を読み、次のことができるかどうかをみる。

- ・ 数学的に表現したことを事象に即して解釈すること
- ・ 数学的な結果を事象に即して解釈すること
- ・ 問題解決の方法を数学的に説明すること

健太さんが作った表

	冷蔵庫A	冷蔵庫B	冷蔵庫C
容量	400 L	500 L	500 L
本体価格	80000 円	100000 円	150000 円
1年間あたりの電気代	15000 円	11000 円	6500 円

(2) 健太さんの家では、7ページの健太さんが作った表で、容量が500 Lである冷蔵庫Bと冷蔵庫Cのどちらかを購入することになりました。そこで、健太さんとお姉さんは、冷蔵庫を購入して x 年間使用するときの総費用を y 円として、冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用を比べてみることにしました。

健太さん「本体価格は冷蔵庫Cの方が高いので、最初のうちは冷蔵庫Bより冷蔵庫Cの方が総費用が多いね。」
 お姉さん「1年間あたりの電気代は冷蔵庫Cの方が安いので、使い続けると冷蔵庫Bより冷蔵庫Cの方が総費用が少なくなるね。」
 健太さん「それなら、2つの冷蔵庫の総費用が等しくなるときがあるね。」

○問題解決の構想や見通しを立て、立てた構想や見通しと問題解決の方法の説明について比較し、問題解決の方法を説明する。

冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用が等しくなるおよその使用年数を考えます。下のア、イのどちらかを選び、それを用いて冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明しなさい。
ア、イのどちらを選んで説明してもかまいません。

ア それぞれの冷蔵庫の使用年数と総費用の関係を表す式

イ それぞれの冷蔵庫の使用年数と総費用の関係を表すグラフ

【設問の趣旨】

与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができるかを見る。

(3) 次の表の①から③は、ある女性に関する現在の情報を示しています。これらの情報を用いて、彼女について説明する英文をそれぞれ書きなさい。

言語や文化についての知識・理解

①	出身	Australia
②	住んでいる都市	Rome

※ 下の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

①	正答率 54.3%
②	正答率 33.8%



○様々な個別の知識を活用して文を書く。

→授業において、コミュニケーションの目的や場面のある言語活動において、知識を活用して文を書くよう指導する。

【設問の趣旨】

与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話すことができるかどうかをみる。

大問3

考える時間 23/60 秒

外国語表現の能力

正答率45.8%

あなたの学校で、海外のあるテレビ局が「世界の子供たちの夢」というテーマで番組を収録しています。画面にある話してほしい内容の①、②について、英語で話してください。1分間、内容を考えたあと、30秒で話します。

話してほしい内容

(①、②のどちらも話してください)

- ①あなたの将来の夢、または、将来やってみたいこと
- ②その実現のために頑張っていること、やるべきこと



(正答の条件)

次の条件を満たして解答している。

- ① 将来の夢、または、将来やってみたいことについて話している。
- ② その実現のために頑張っていること、やるべきことについて話している。

○与えられたテーマについて、まとまりのある内容を話す。

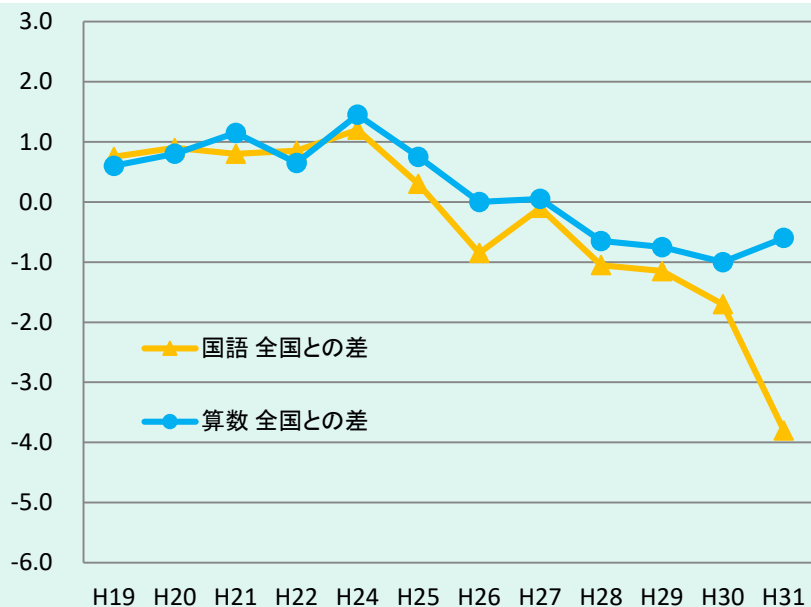
→授業において、コミュニケーションの目的や場面を意識した具体的な課題を設定して英語で話すよう指導する。

(2) 教科に関する調査結果

国語及び算数・数学の平均正答率の全国平均との差

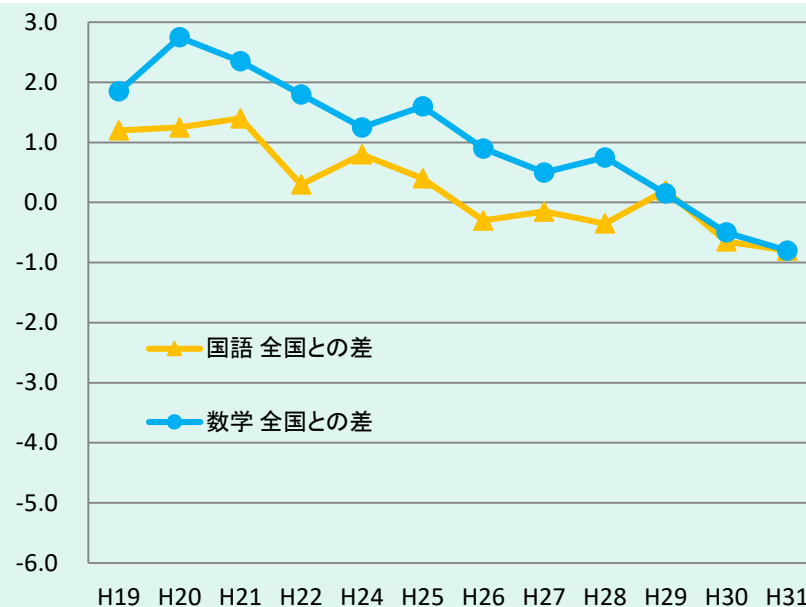
小学校

全国学力・学習状況調査 全国平均正答率との差 小学校(国、算)



中学校

全国学力・学習状況調査 全国平均正答率との差 中学校(国、数)



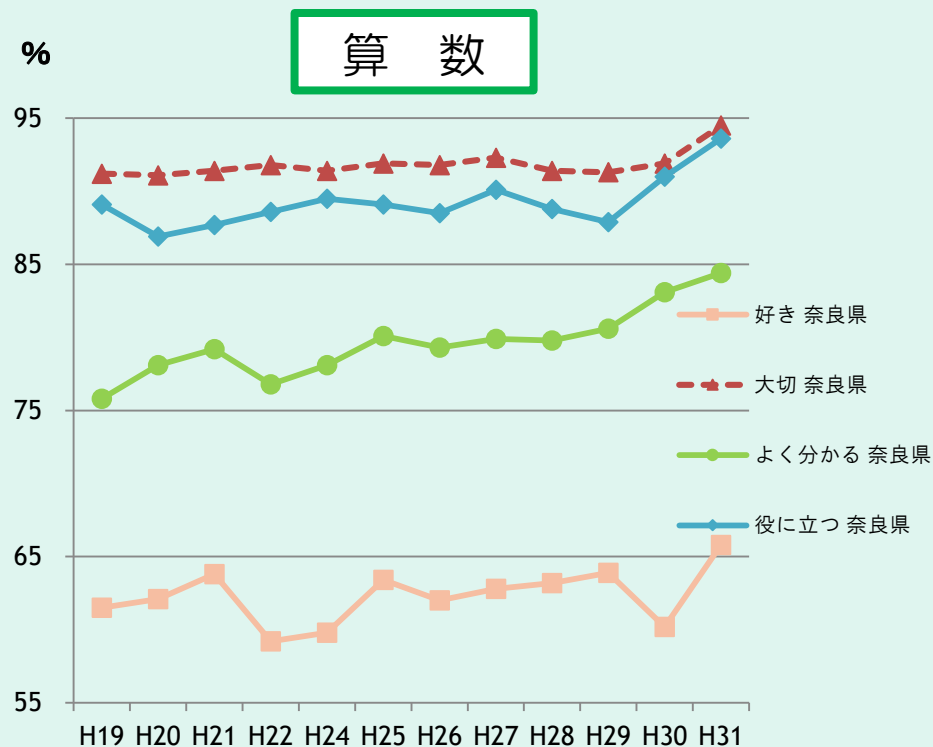
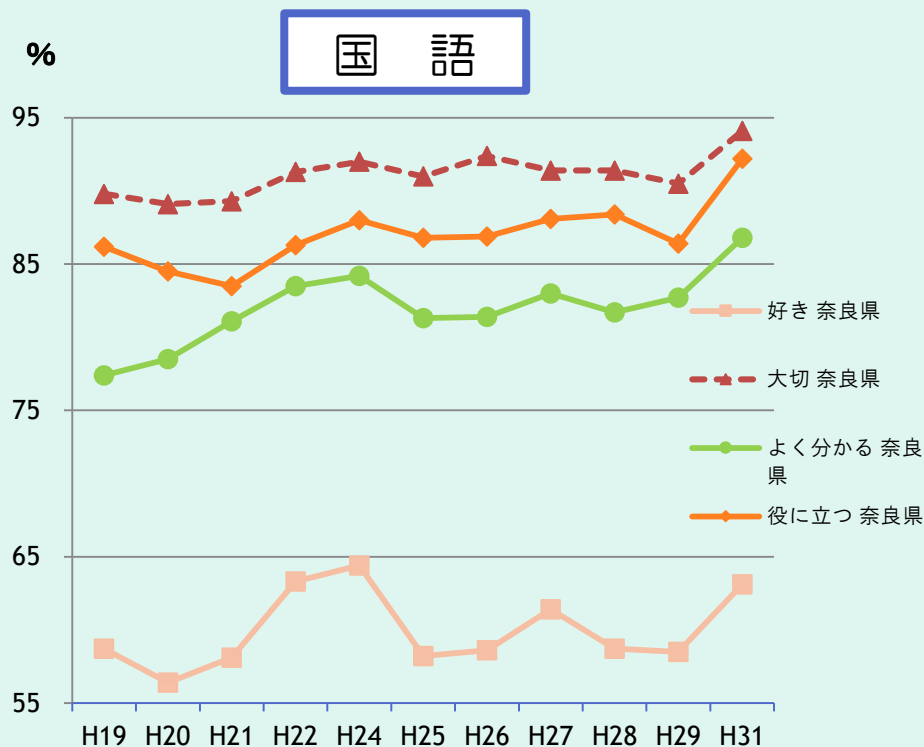
奈良県の児童生徒の学力は、相対的に下降傾向にある。

※ 平成29年度以降、各都道府県の平均正答率が整数値で公表されるようになったため、平成29年度以降の数値については±0.5ポイント程度の誤差があります。

(3) 質問紙に関する調査結果

ア 学習意欲に関する状況(小学校)

学習意欲に関する各質問項目に 肯定的な回答をした児童の割合の推移



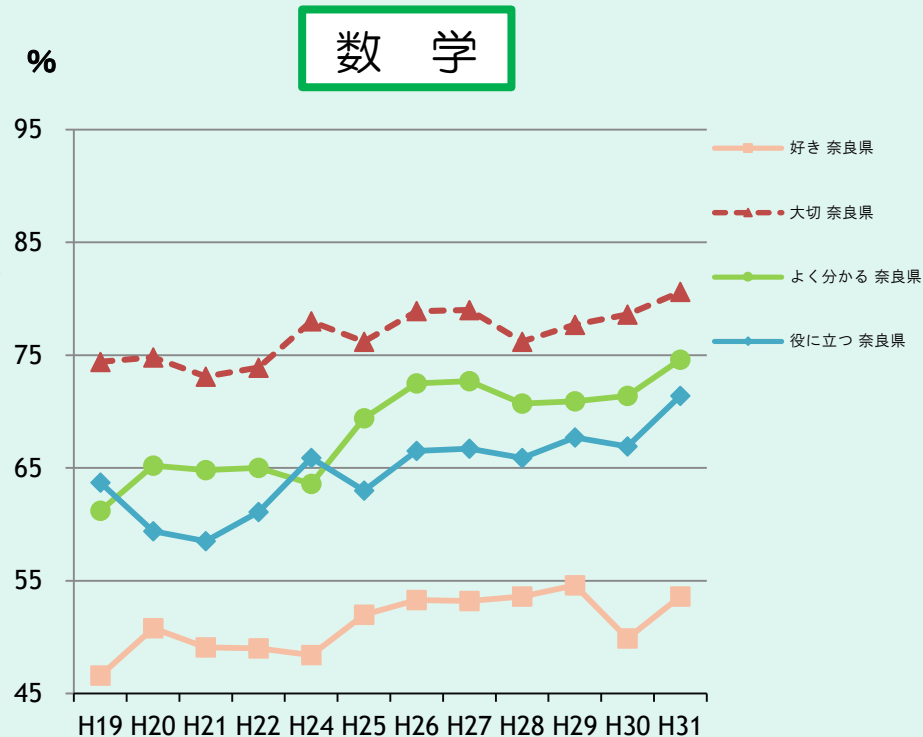
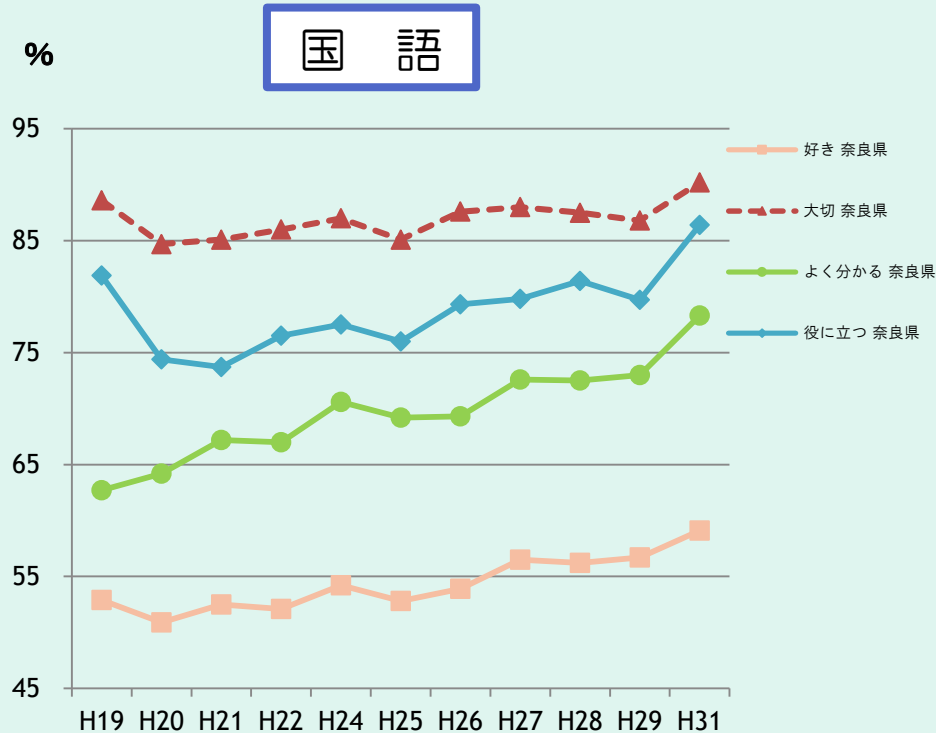
※ 平成30年度は、算数・数学の学習意欲のみ。

奈良県の児童の学習意欲は、わずかずつ上昇している。
また、全ての質問項目で、前回より肯定的な回答の割合が上昇している。

(3) 質問紙に関する調査結果

ア 学習意欲に関する状況(中学校)

学習意欲に関する各質問項目に 肯定的な回答をした生徒の割合の推移



※ 平成30年度は、算数・数学の学習意欲のみ。

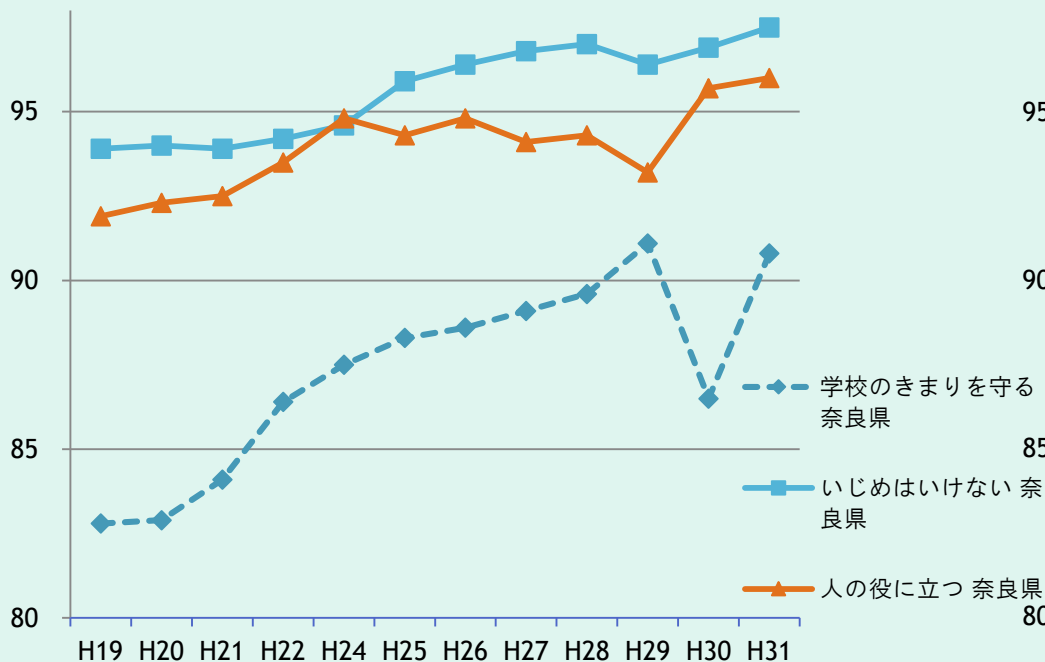
奈良県の生徒の学習意欲は、わずかずつ上昇している。
また、全ての質問項目で、前回より肯定的な回答の割合が上昇している。

(3) 質問紙に関する調査結果

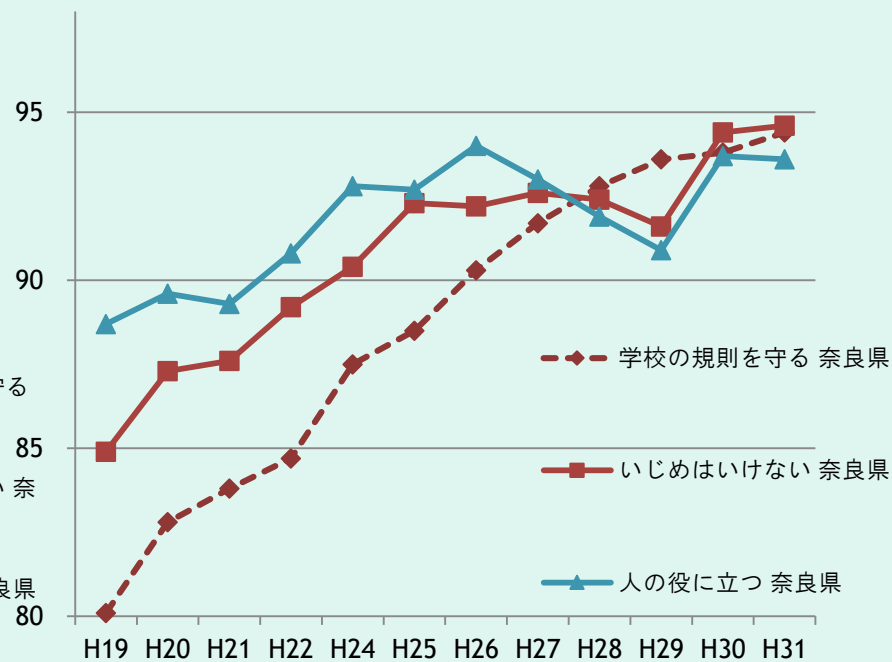
イ 規範意識に関する状況

規範意識に関する各質問項目に 肯定的な回答をした児童生徒の割合の推移

小学校



中学校



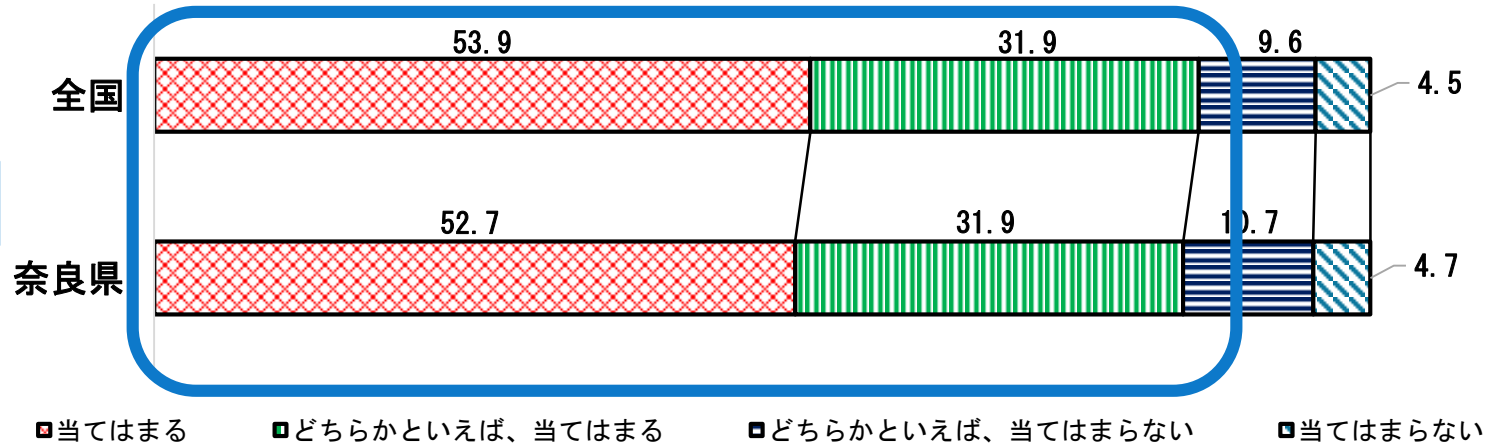
奈良県の児童生徒は、規範意識に関する質問について、いずれも9割以上が肯定的に回答している。

(3) 質問紙に関する調査結果

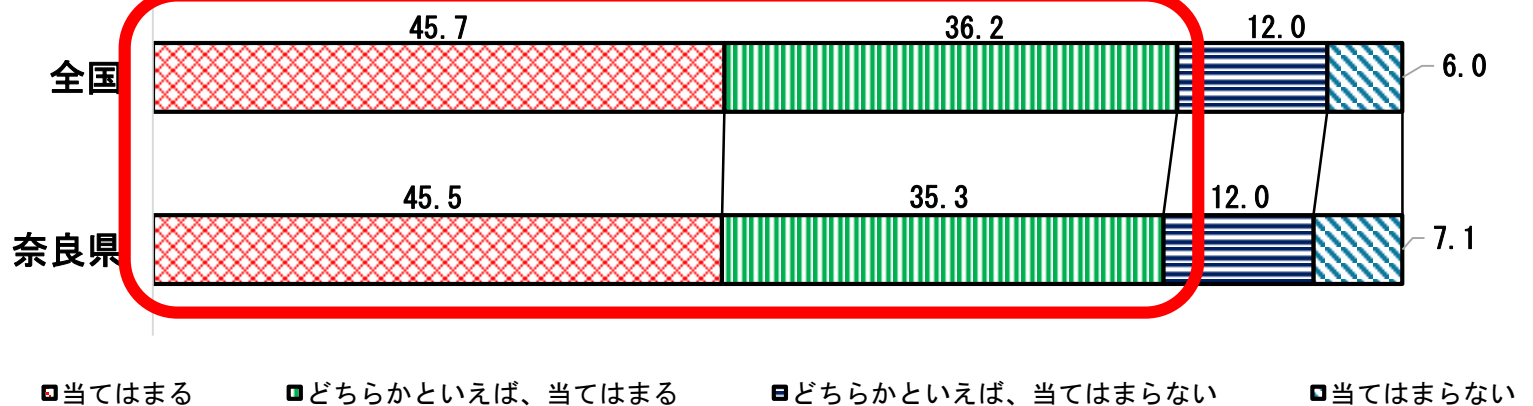
ウ 学習意欲と「学校が楽しい」

奈良県の結果と全国平均との差

小学校



中学校

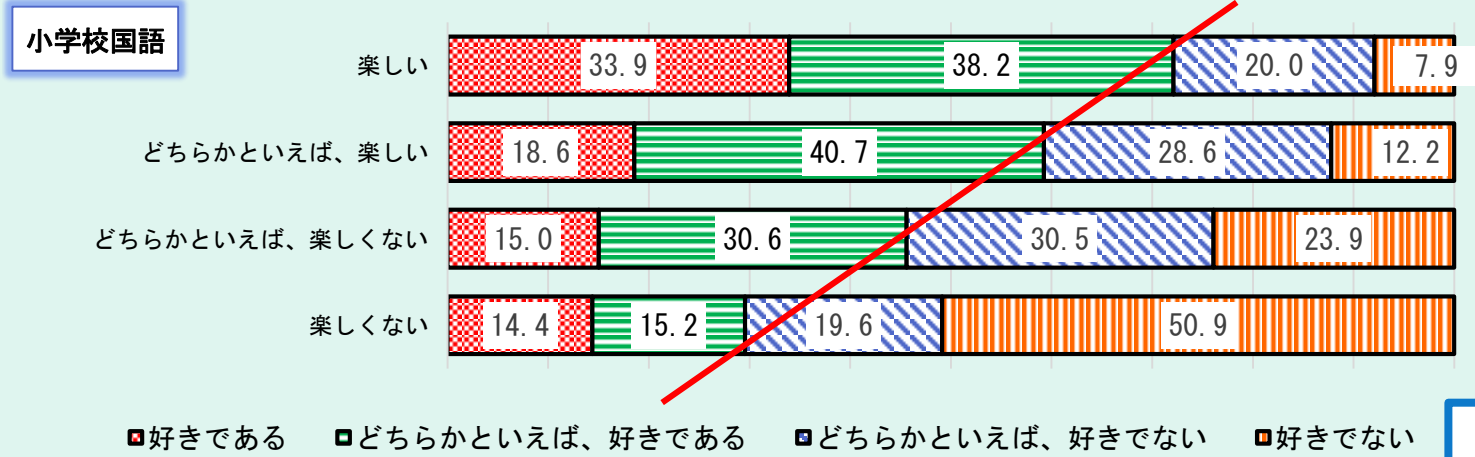


「学校が楽しい」と答えている児童生徒は、全国平均に比べて低い状況である。

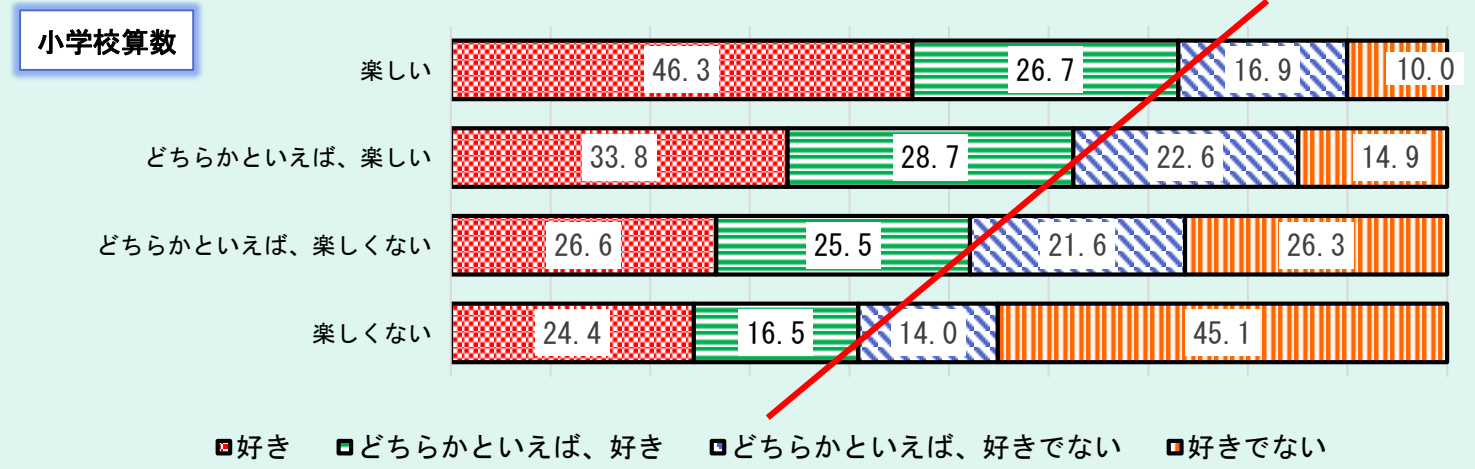
(3) 質問紙に関する調査結果

ウ 学習意欲と「学校が楽しい」

【学校が楽しい】と【勉強が好き】のクロス集計結果



小学校



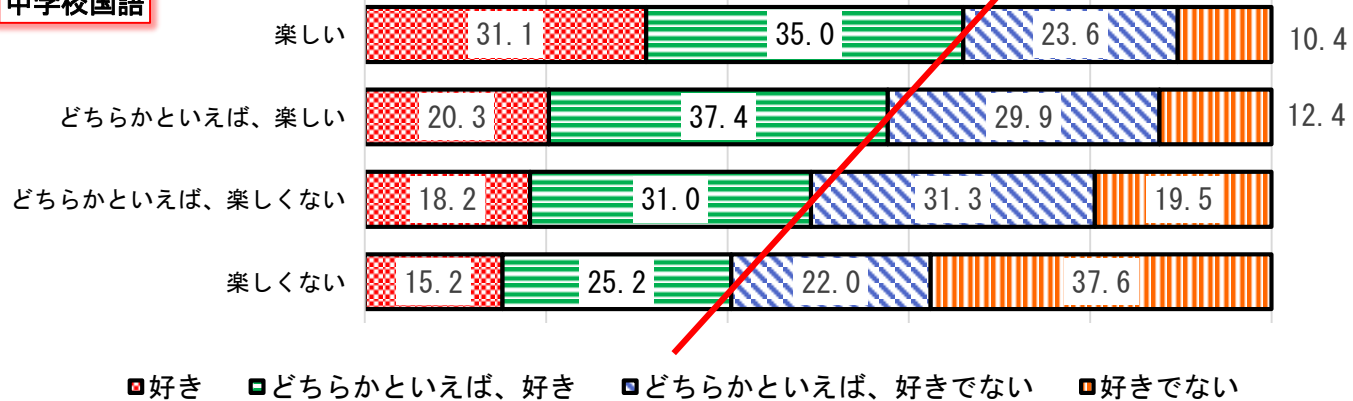
学校が楽しいと回答している児童ほど教科の勉強が好きと回答している。

(3) 質問紙に関する調査結果

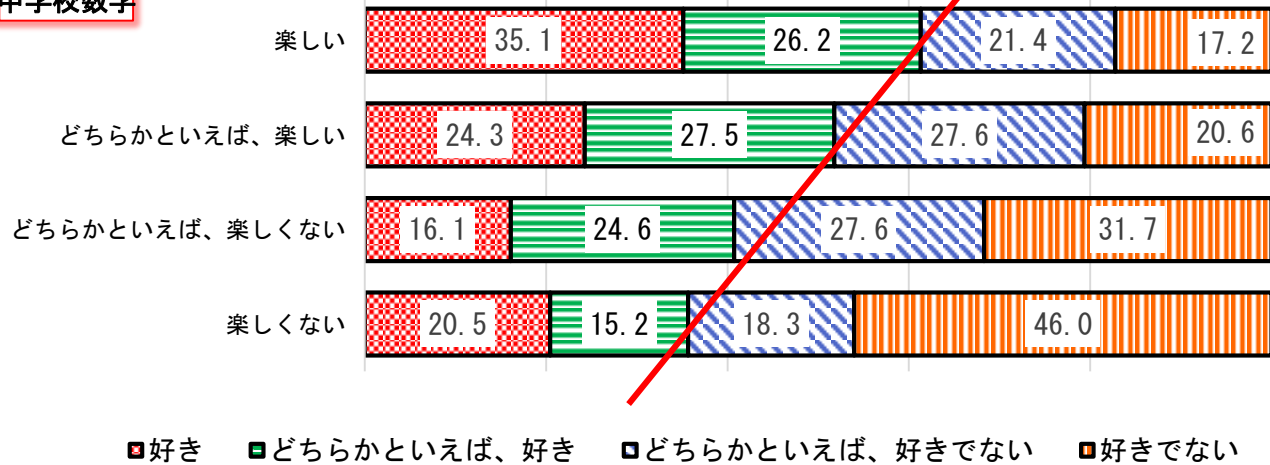
ウ 学習意欲と「学校が楽しい」

【学校が楽しい】と【勉強が好き】のクロス集計結果

中学校国語



中学校数学



中学校

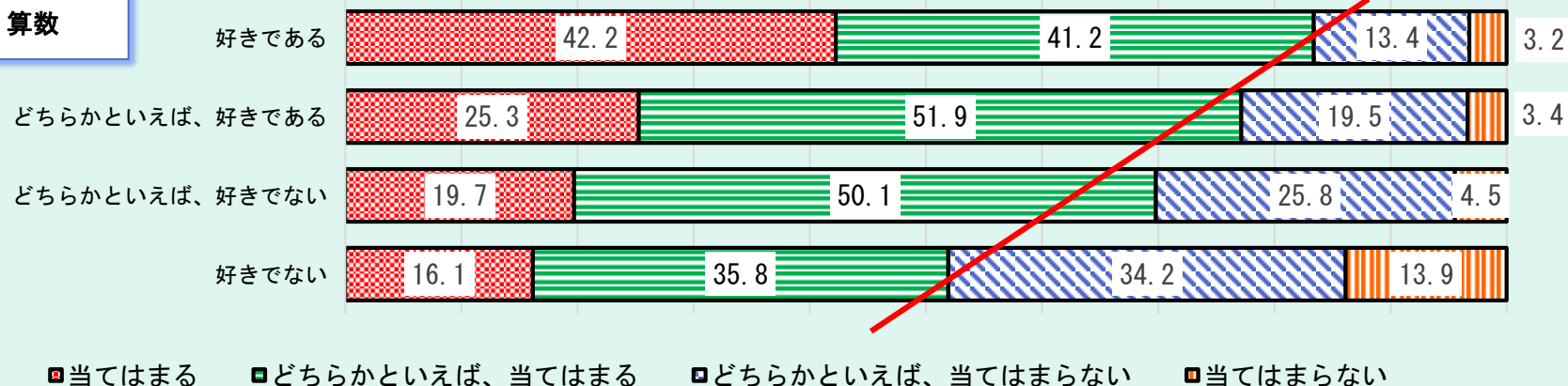
学校が楽しいと回答している生徒ほど教科の勉強が好きと回答している。

(3) 質問紙に関する調査結果

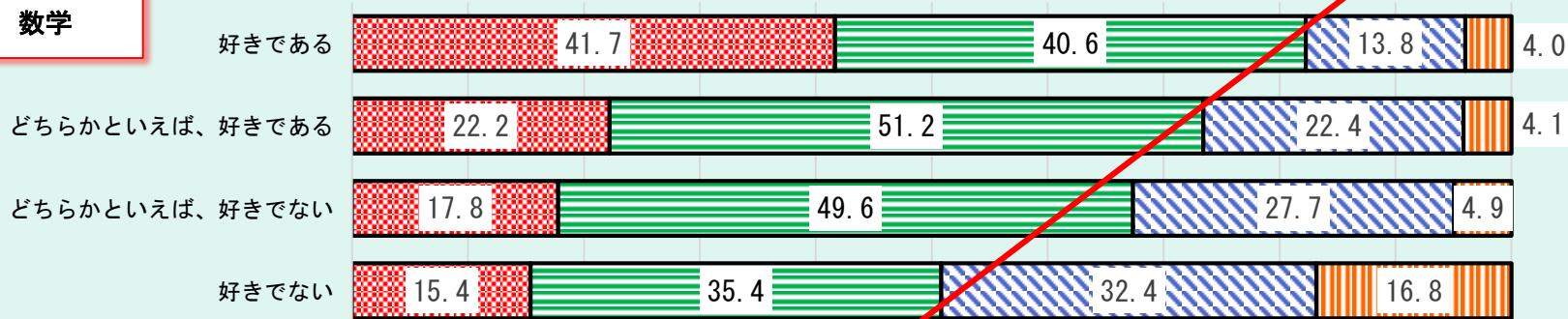
ウ「教科の勉強が好き」と主体的な学び

【算数・数学の勉強が好き】と【主体的な学び】のクロス集計結果

小学校 算数



中学校 数学

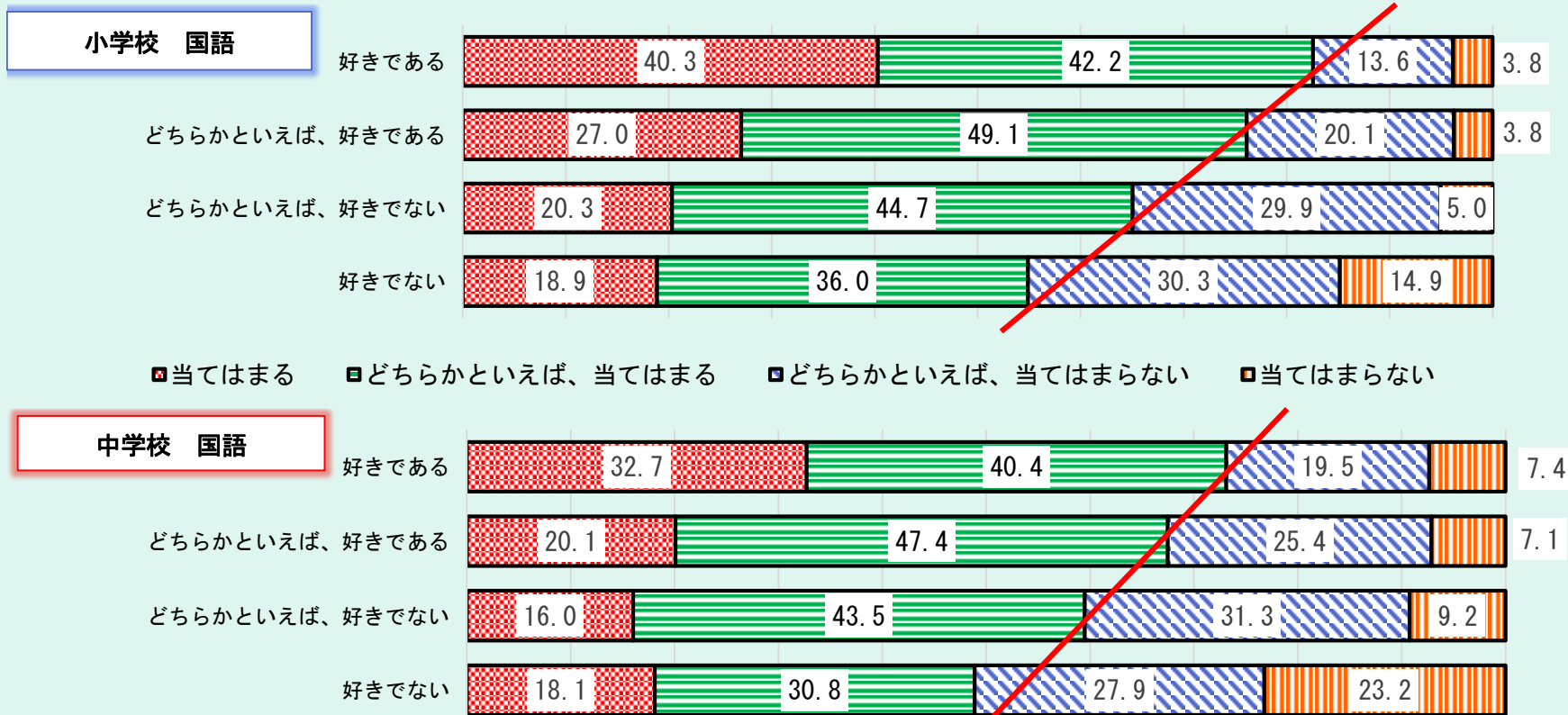


「算数・数学の勉強が好き」と答えている児童生徒ほど、「授業では、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う」について肯定的に回答している。

(3) 質問紙に関する調査結果

ウ「教科の勉強が好き」と対話的な学び

【国語の勉強が好き】と【対話的な学び】のクロス集計結果



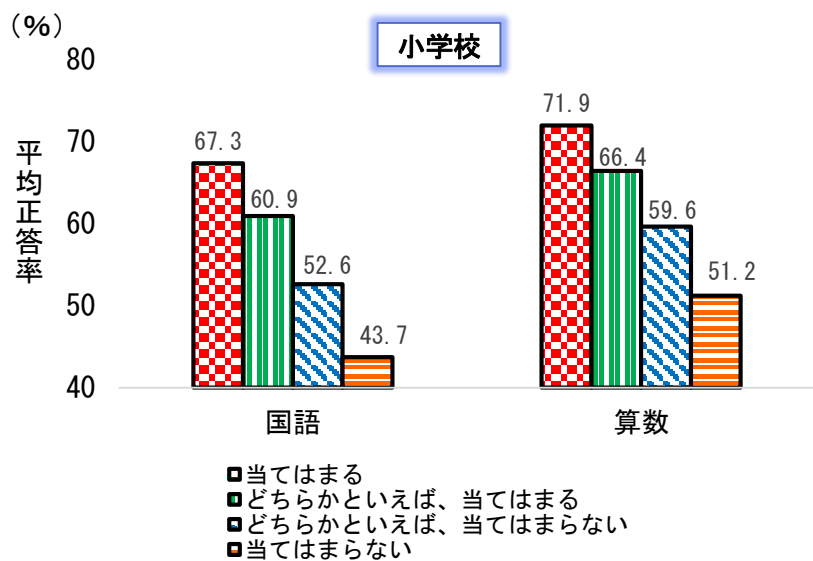
「国語の勉強が好き」と答えている児童生徒ほど、「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていたと思う」について肯定的に回答している。

(3) 質問紙に関する調査結果

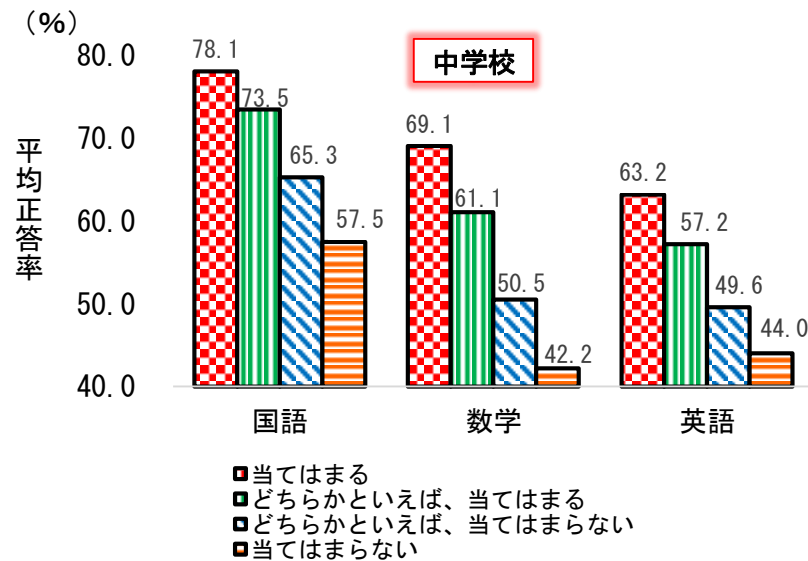
エ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

学校での学習状況と平均正答率とのクロス集計結果

「これまでに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいたと思いますか。」と各教科の平均正答率



「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいたと思う」



「1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいたと思う」

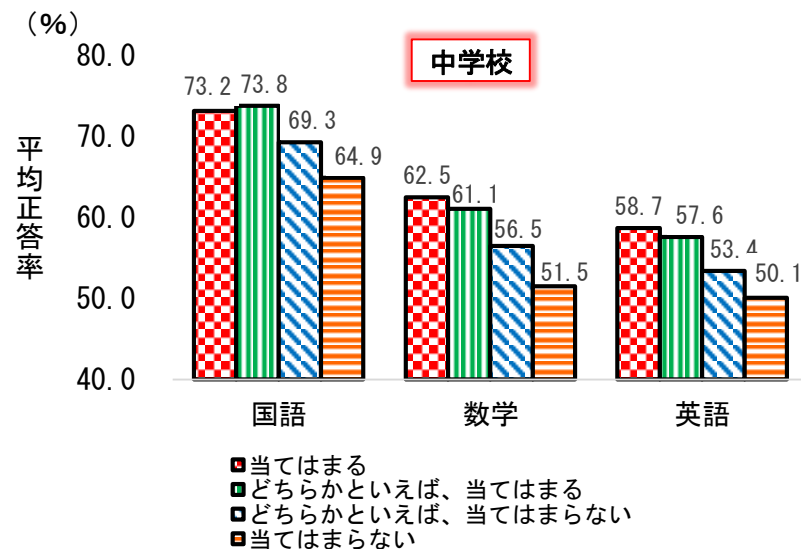
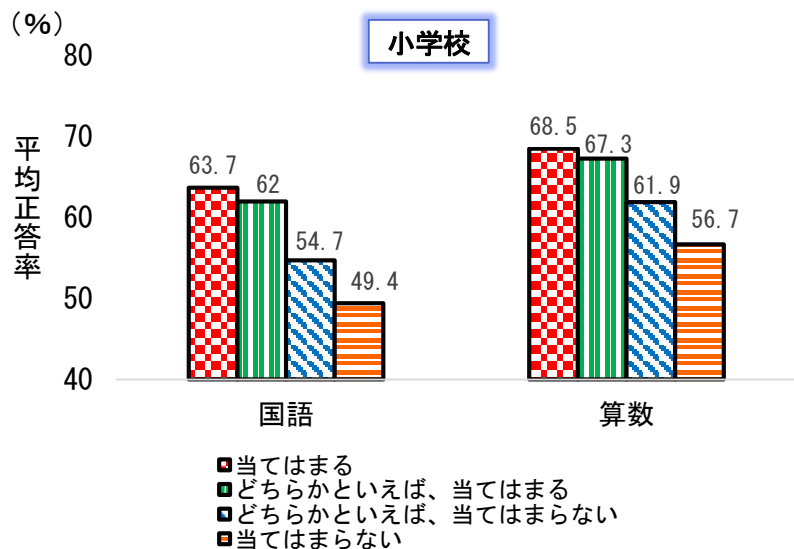
「主体的に学習している」と回答した児童生徒ほど、各教科の平均正答率が高い。
→主体的な学習活動が有効である。

(3) 質問紙に関する調査結果

エ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

学校での学習状況（指導状況）とクロス集計結果

「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。」と各教科の平均正答率



「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていたと思う」

「生徒の間に話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていたと思う」

「対話的な学習活動をしている」と回答した児童生徒ほど、各教科の平均正答率が高い。
→対話的な学習活動が有効である。

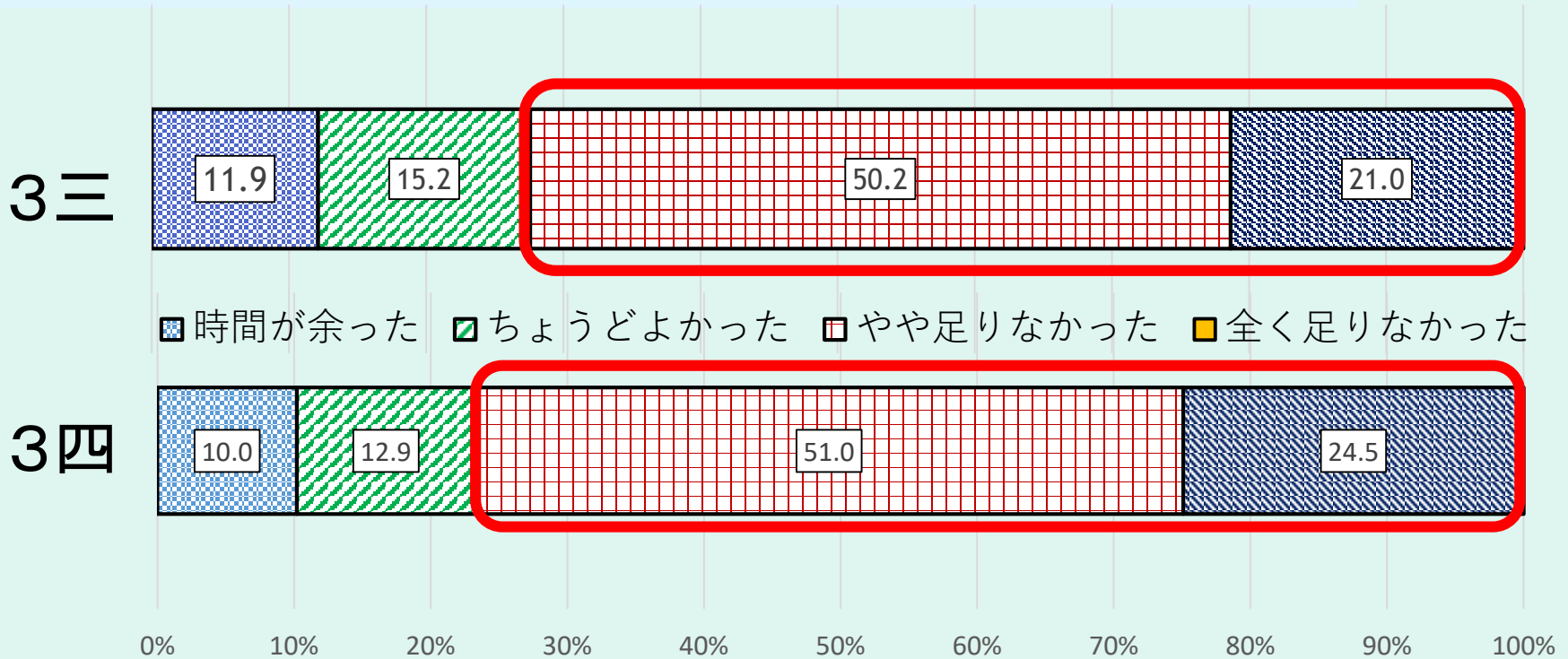
○無解答率について

全国学力・学習状況調査 小学校国語 平均正答率と無解答率



小学校国語について、後半の設問において、全国平均と比べて無解答率が増えている。

〈解答時間は十分であったか〉(小学校国語)



各設問に無解答であった児童のうち、「解答時間が不足している」と回答した児童が7割以上を占めている。

(3) 質問紙に関する調査結果

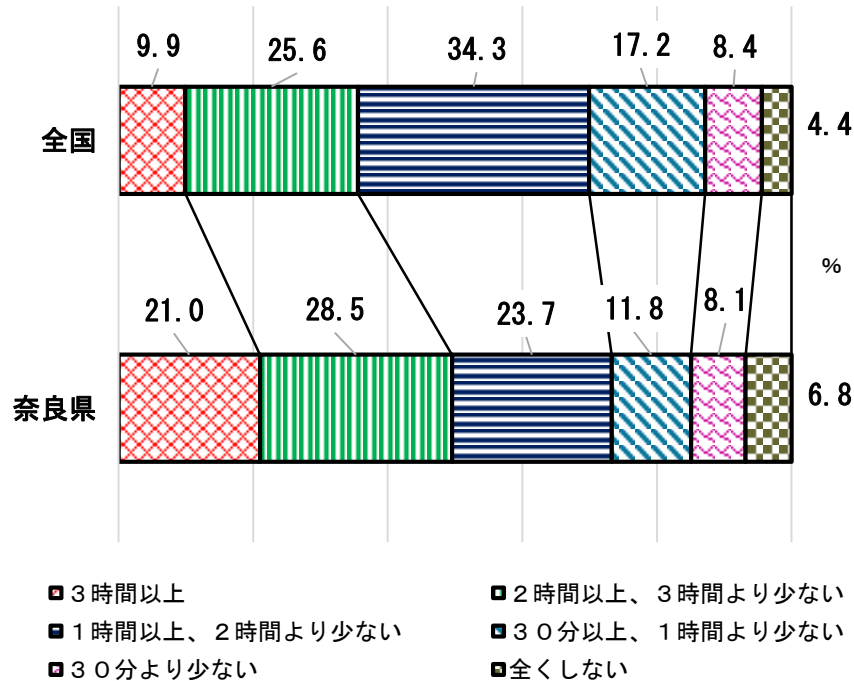
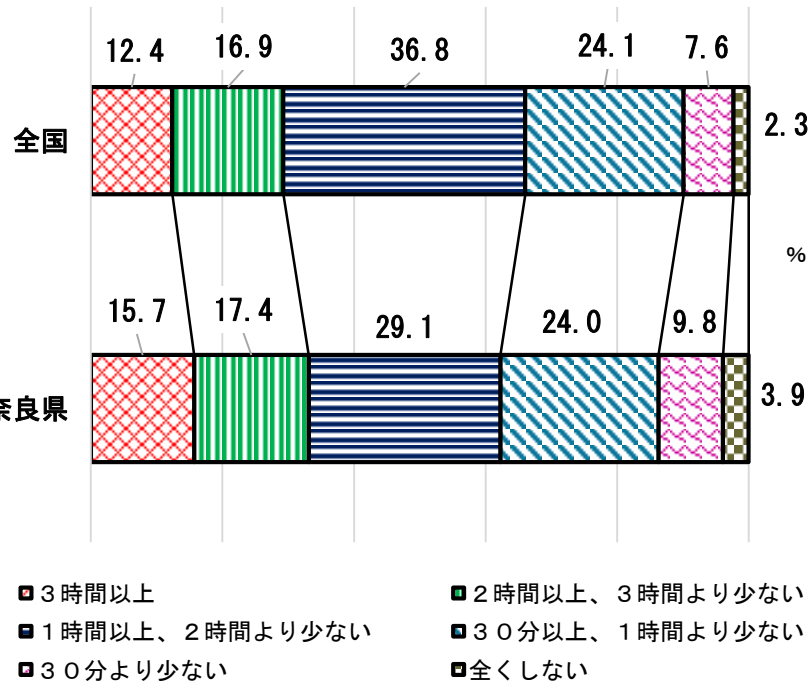
才 学習習慣等に関する状況

授業時間以外での学習時間に関する質問項目における全国平均との比較

学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか

小学校

中学校



奈良県の児童生徒の学習時間について、全国平均との比較では、「3時間以上」と「全くしない」と回答した児童生徒の割合が大きい。

(3) 質問紙に関する調査結果

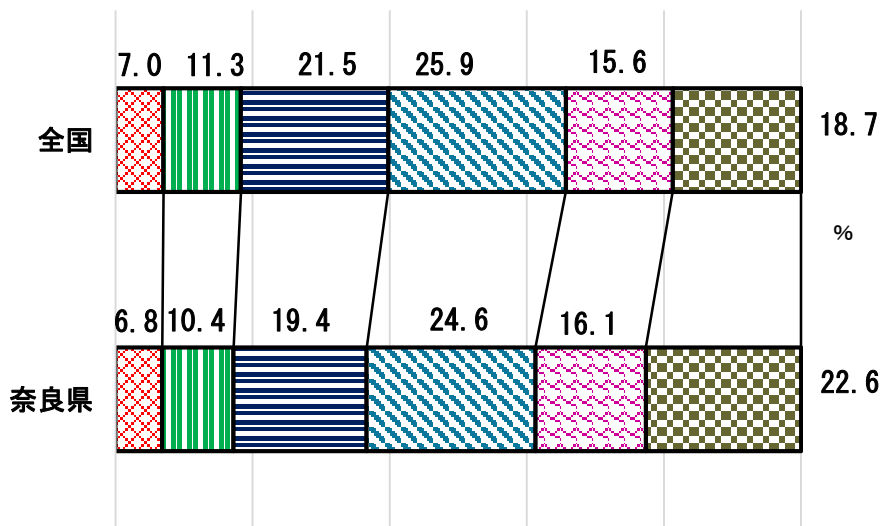
才 学習習慣等に関する状況

授業時間以外での読書時間に関する質問項目における全国平均との比較

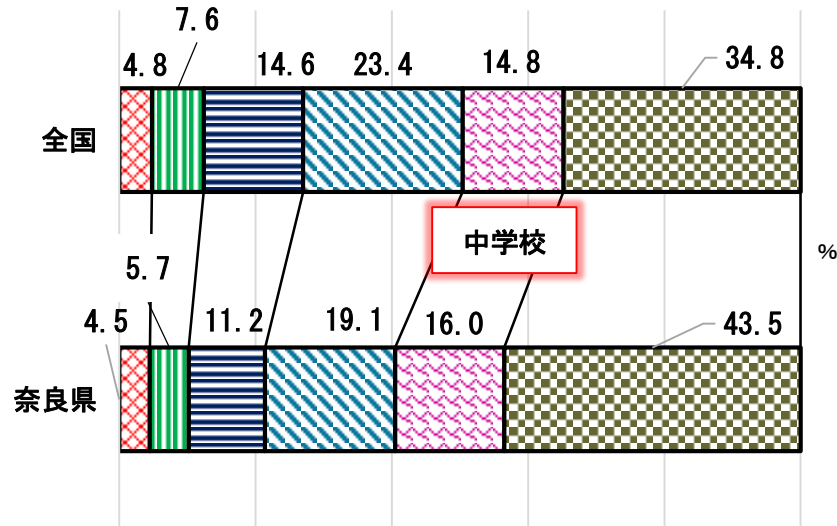
学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか

小学校

中学校



- 2時間以上
- 30分以上、1時間より少ない
- 10分より少ない
- 1時間以上、2時間より少ない
- 10分以上、30分より少ない
- 全くしない



- 2時間以上
- 30分以上、1時間より少ない
- 10分より少ない
- 1時間以上、2時間より少ない
- 10分以上、30分より少ない
- 全くしない

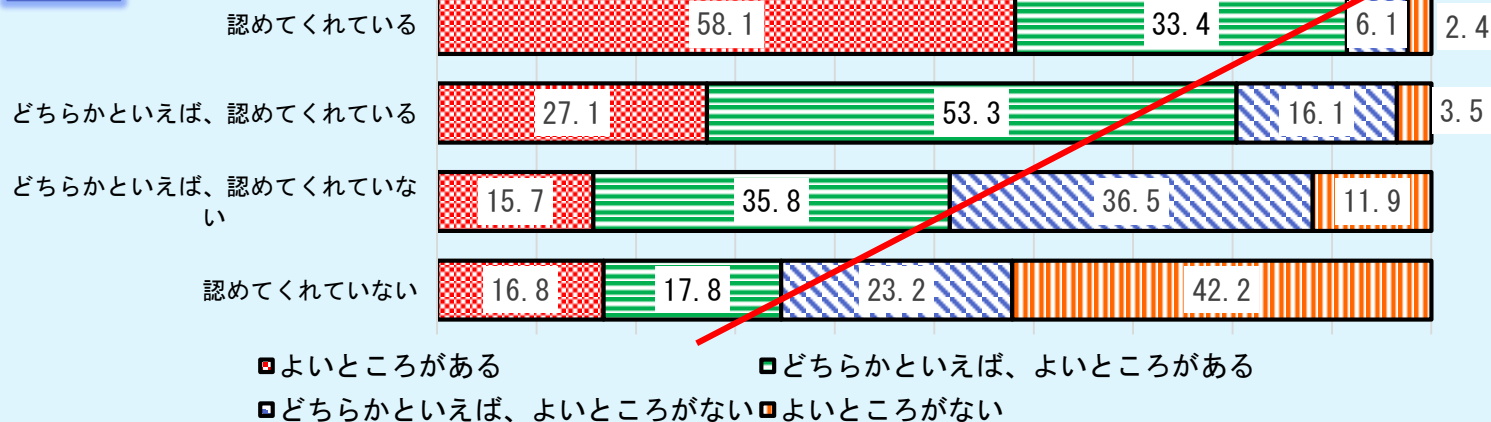
奈良県の児童生徒の学習時間について、全国平均との比較では、「読書を全くしない」と回答した児童生徒の割合が大きい。

(3) 質問紙に関する調査結果

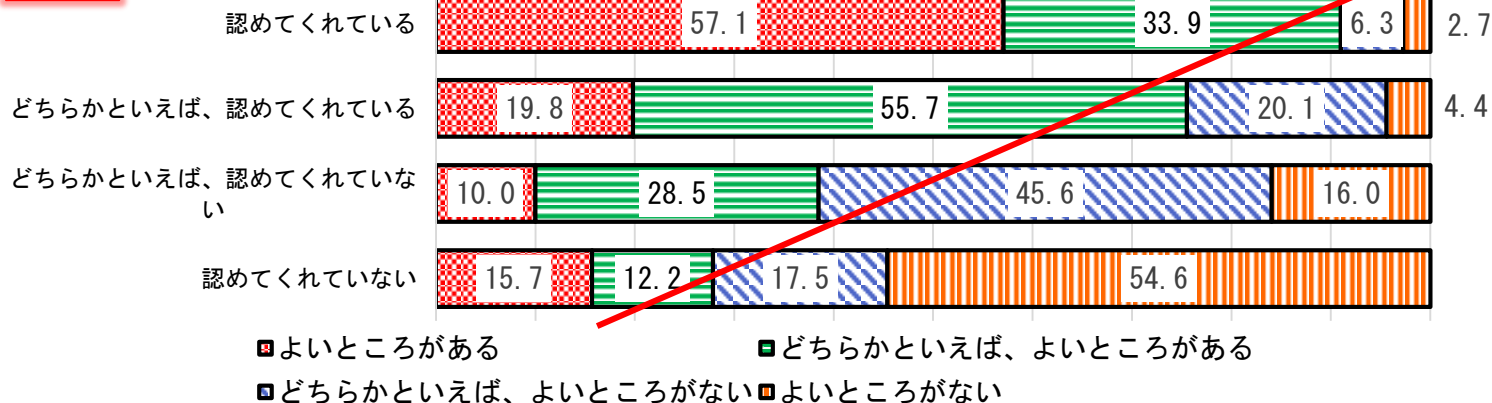
カ 自己肯定感

「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」と「自分にはよいところがあると思う」

小学校



中学校



「先生はよいところを認めてくれている」と肯定的に回答した児童生徒ほど自己肯定感が高い。

(3) 質問紙に関する調査結果

キ 中学校英語について

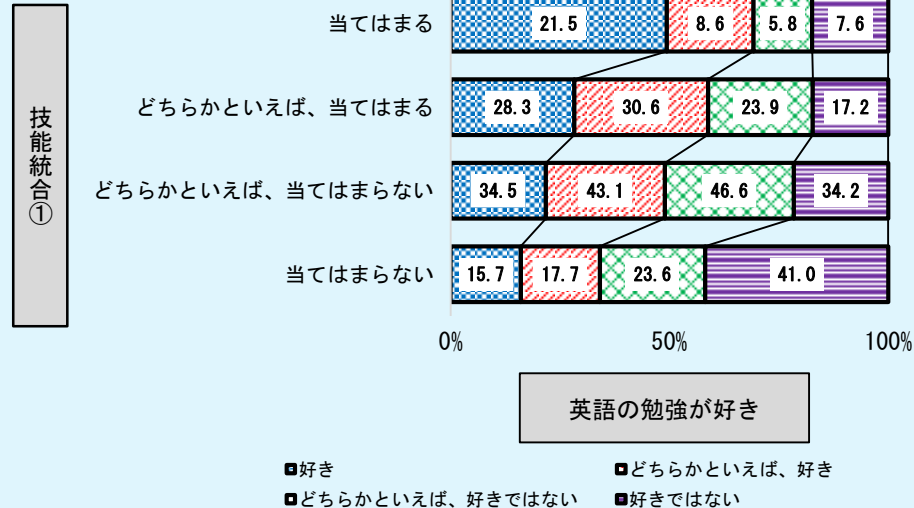
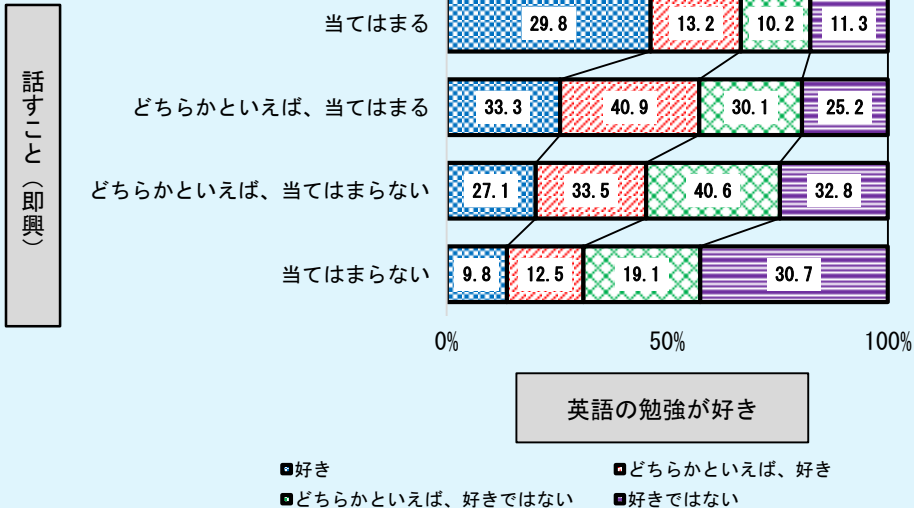
学校における指導状況と生徒の受け止め

原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思うか

聞いたり読んだりした内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思うか

生徒質問紙調査

生徒質問紙調査



即興で自分の考えを英語で伝え合う言語活動や、聞いたり読んだりした内容について英語で書いてまとめたり自分の考えを書いたりする言語活動を行っている生徒ほど、「英語の勉強が好き」と回答している。

(3) 質問紙に関する調査結果

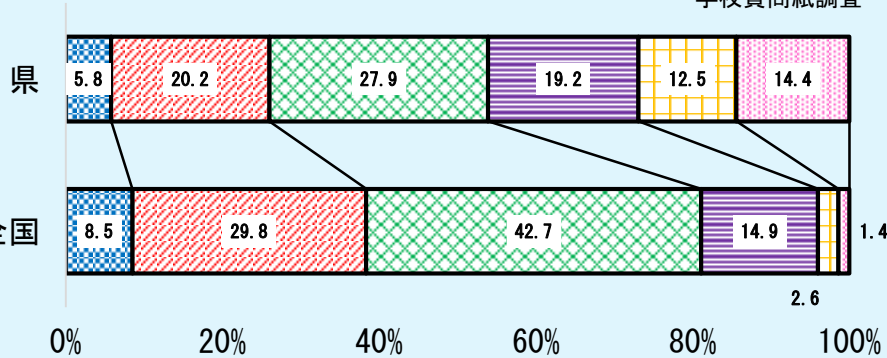
キ 中学校英語について

学校における指導状況

年間の授業のうち、どのくらいの頻度でALT（外国語指導助手）を活用した授業を行いましたか

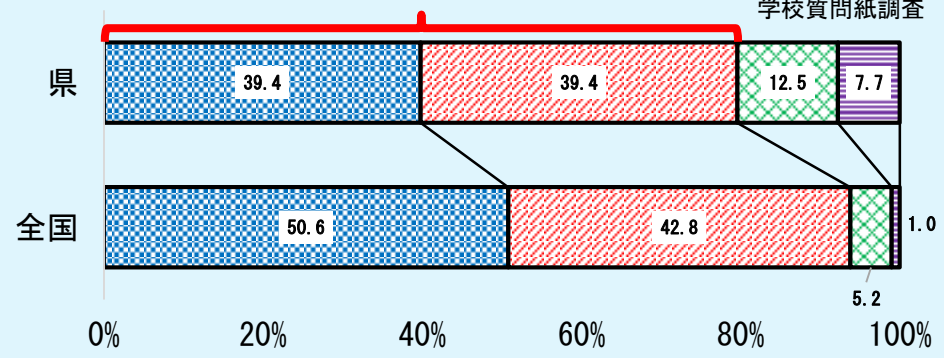
英語担当教師とALT（外国語指導助手）との間で、授業のねらいや活動の意図、書く学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識をもち、協力して授業を行うことができていると思いますか

学校質問紙調査



78.8

学校質問紙調査

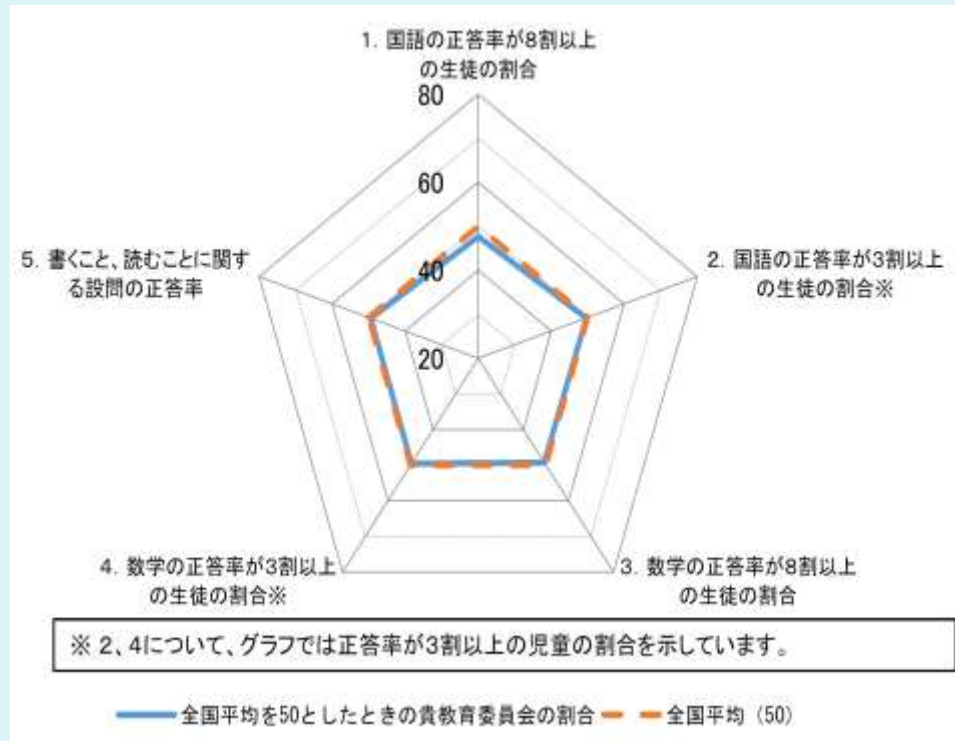
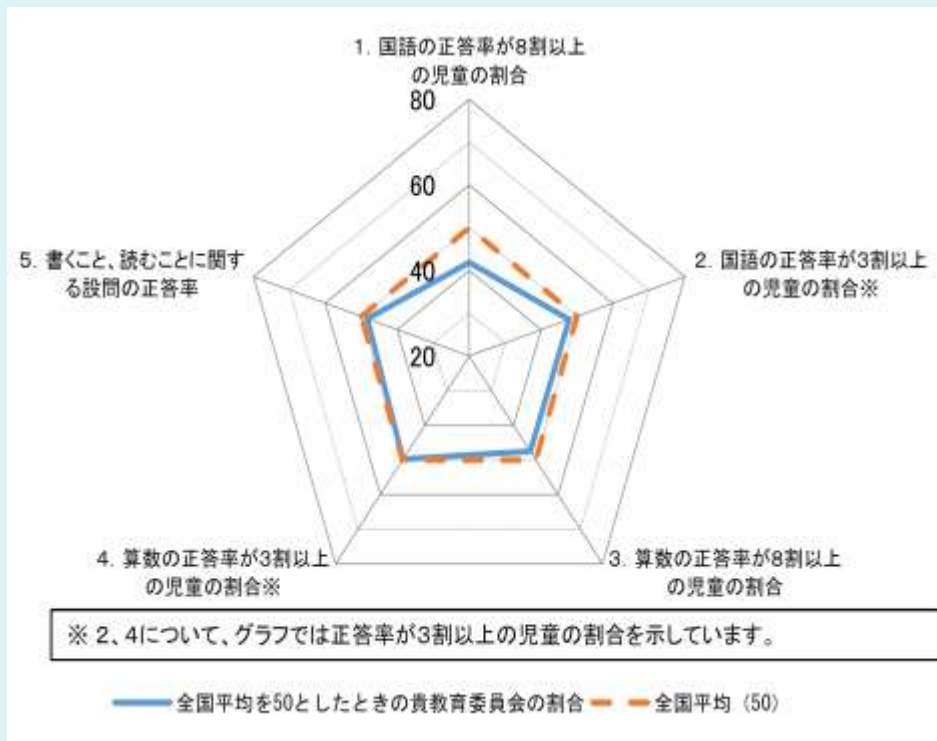


年間のうちのALTを活用した授業の頻度について、全国平均を下回る結果となっている。

また、「英語担当教師とALTとの間で、授業のねらいや生徒の実態等についての共通認識をもって協力して授業を行っているか」との質問に肯定的に回答した学校の割合は、7割を超えているものの全国平均より低い。

4. レーダーチャートについて

国語の正答率が8割以上、3割以下 算数・数学の正答率が8割以上、3割以下 書くこと、読むことに関する設問の正答率

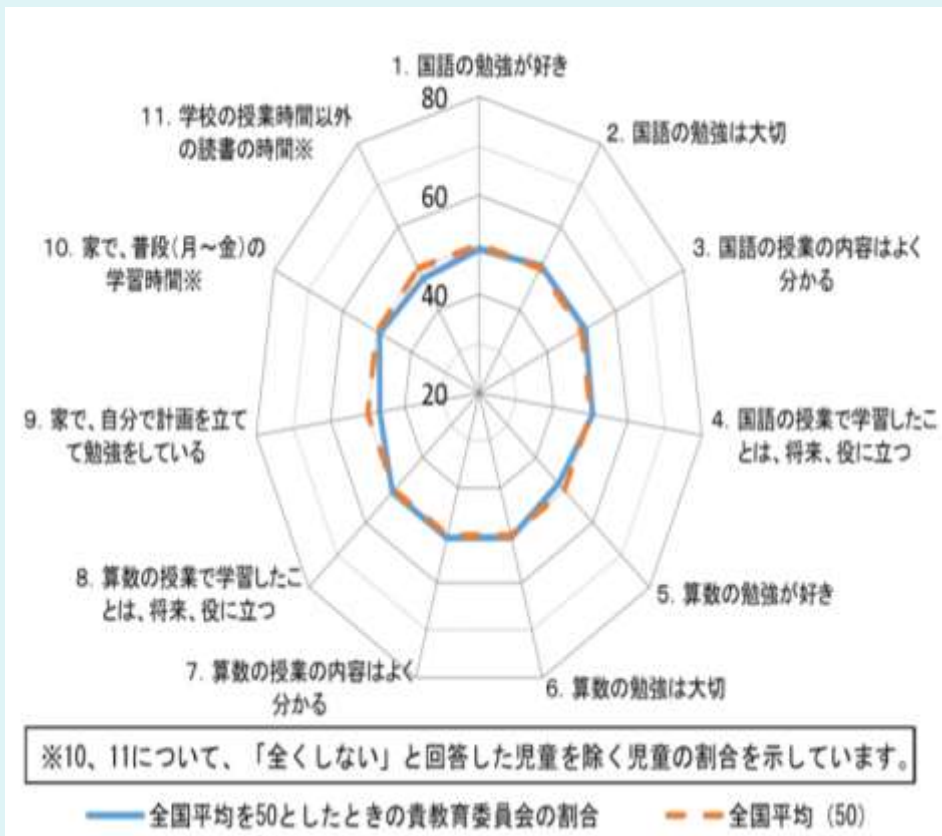


小学校

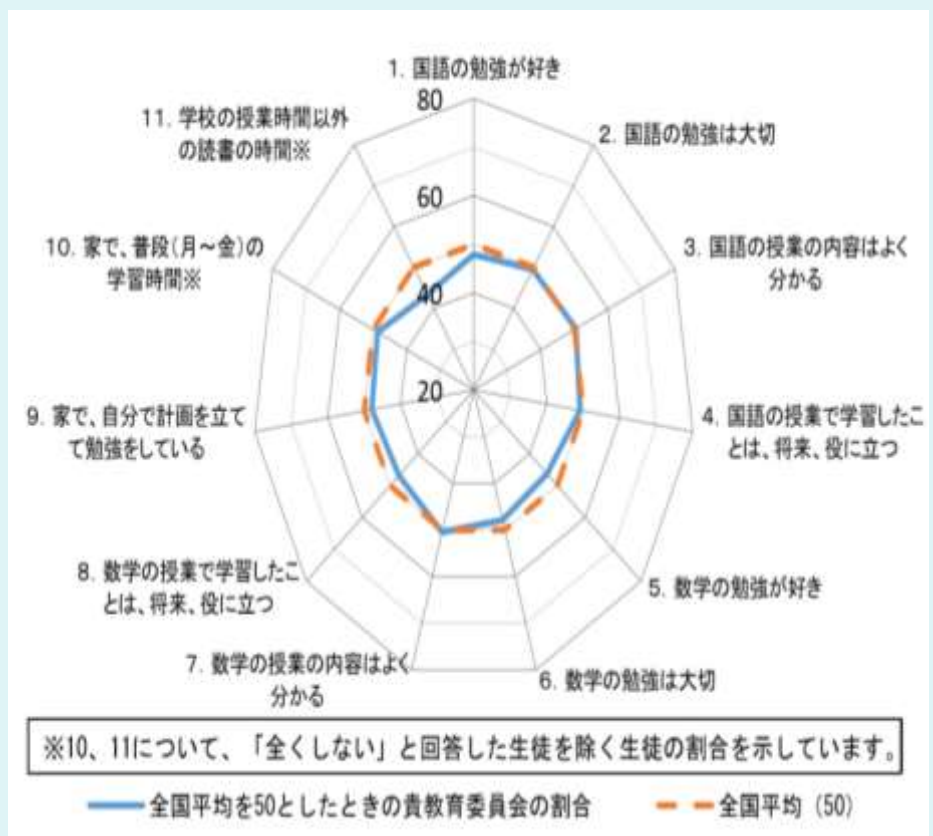
中学校

管内の学校の状況を把握した上で、各学校に資料を提供していただきたい。

1. 国語の勉強が好き ～ 11. 読書をする時間

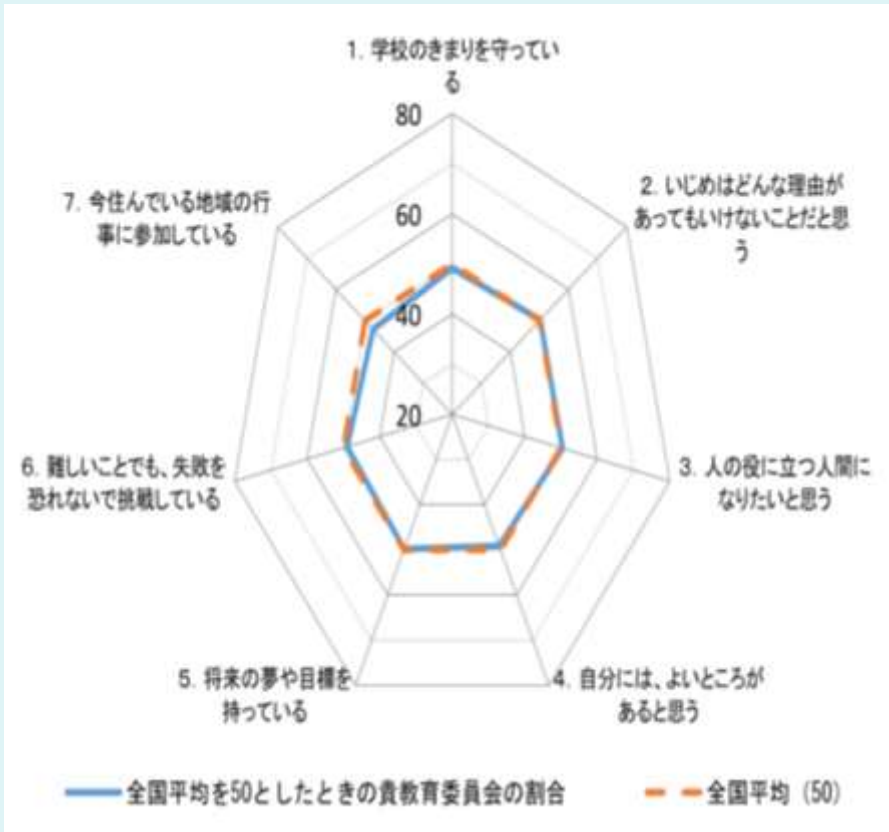


小学校

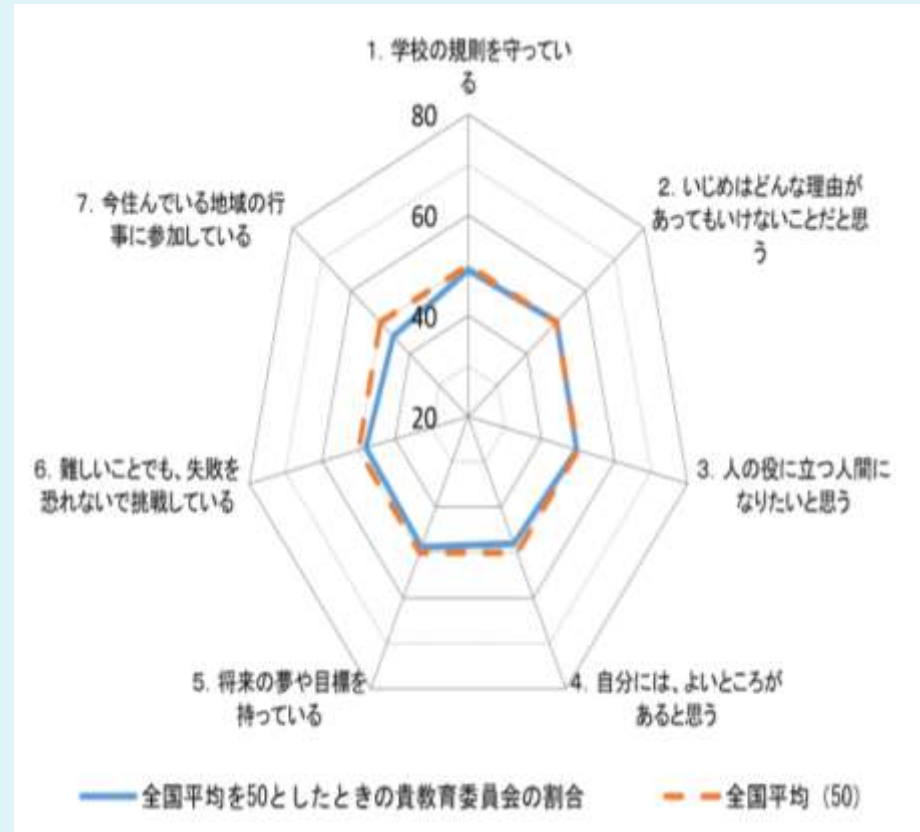


中学校

1. 学校のきまり(規則)を守る ～ 7. 地域の行事に参加している



小学校



中学校

5. 教育委員会や先生方をお願いしたいこと

- 1 「学校に行くのは楽しいですか」等、学校適応に関する質問紙調査の結果を児童生徒理解につなげ、必要な手立てを講じること。
- 2 無解答から見られる個別の実態や全体の状況を把握・分析し、必要な手立てを講じること。
- 3 学力調査の結果を活用して、授業改善や指導改善に努めること。

報告書の活用

平成31年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査

報告書

児童生徒一人一人の学力・学習状況に
応じた学習指導の改善・充実に向けて

小学校 国語

令和元年7月
文部科学省 国立教育政策研究所

出題の趣旨

相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話すことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第3学年及び第4学年〕

イ 相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話すこと。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第3学年及び第4学年〕 A 話すこと・聞くこと

学習指導要領の学年・領域・内容

1. 解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率 (%)	正答
①	1 3・4と解答しているもの（類不同）	90.9	◎
	2 3と解答しているが、4と解答していないもの	1.2	
	3 4と解答しているが、3と解答していないもの	6.1	
	99 上記以外の解答	0.7	
	0 無解答	0.1	

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた

授業アイデア例

小学校

「授業アイデア例」は、全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえて、授業の改善・充実を図る際の参考となるよう、授業のアイデアの一例を示すものとして、国立教育政策研究所において作成したものです。
本調査で見られた課題は、調査の対象学年だけではなく、学校全体で継続的・継続的な取組によって改善を図っていくことが大切です。

報告書や**授業アイデア例**を活用し、**授業改善**のヒントに！

「報告書」は、<http://www.nier.go.jp/18chousakekkahoukoku/index.html>

「授業アイデア例」は、<http://www.nier.go.jp/jugyourei/index.htm> からダウンロードできます。